

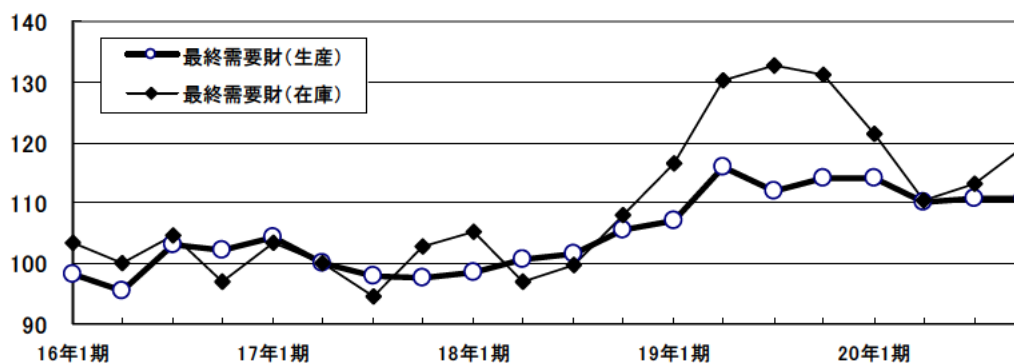
### 3 特殊分類別（財別）鉱工業生産及び生産者製品在庫の動き

#### 1 最終需要財

平成 20 年の県内最終需要財の生産指数は 111.5 で、対前年比 0.6%低下しました。（表 4）  
四半期別にみると、1 期 114.2（対前期比 0.1%増）、2 期 110.0（同 3.7%減）、3 期 110.8（同 0.7%増）、4 期 110.8（同±0.0%）となりました。（表 8）

また、在庫指数の年平均は 108.8 で、対前年比 14.8%低下しました。（表 6）

四半期別にみると、1 期 121.3（対前期比 6.3%増）、2 期 110.5（同 8.9%減）、3 期 113.3（同 2.5%増）、4 期 119.2（同 5.2%増）となりました。（表 10）



#### 1-1 投資財

平成 20 年の県内投資財の生産指数は 116.3 で、対前年比 6.4%低下しました。（表 4）

また、在庫指数の年平均は 113.9 で、対前年比 1.0%低下しました。（表 6）

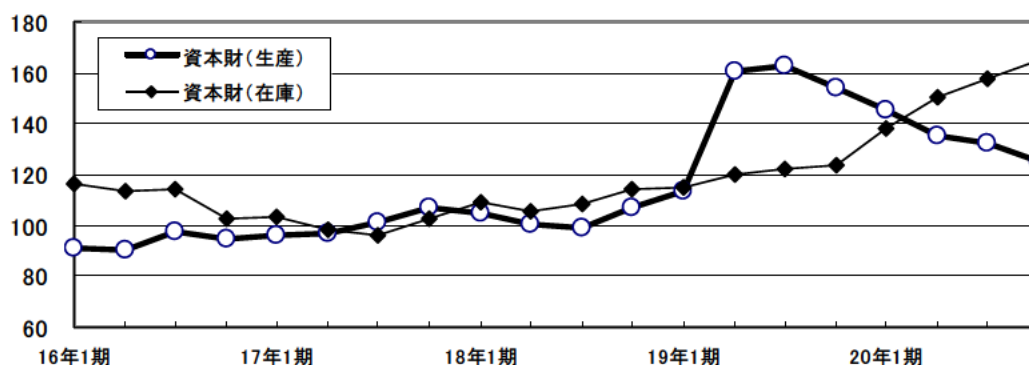
#### 1-1-1 資本財

平成 20 年の県内資本財の生産指数は 134.8 で、対前年比 8.2%低下しました。（表 4）

四半期別にみると、1 期 145.2（対前期比 5.8%減）、2 期 135.1（同 7.0%減）、3 期 132.5（同 1.9%減）、4 期 125.0（同 5.7%減）となりました。（表 8）

また、在庫指数の年平均は 118.5 で、対前年比 1.3%低下しました。（表 6）

四半期別にみると、1 期 138.3（対前期比 10.3%減）、2 期 150.3（同 8.7%増）、3 期 157.7（同 4.9%増）、4 期 164.7（同 4.4%増）となりました。（表 10）



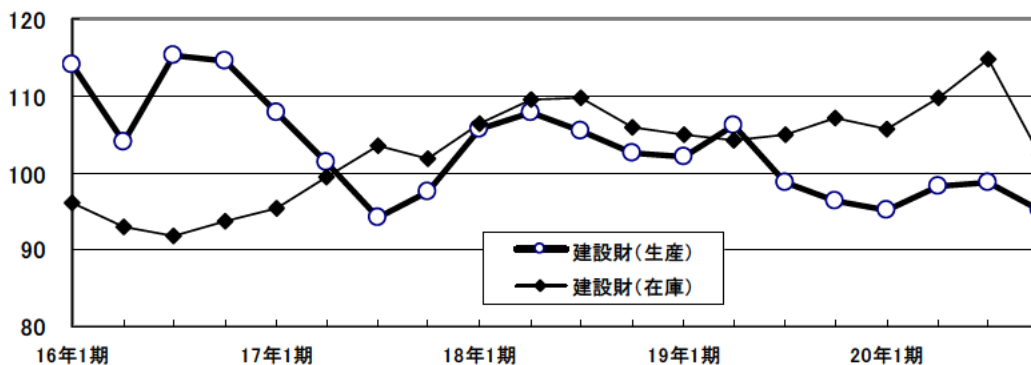
## 1-1-2 建設財

平成20年の県内建設財の生産指数は96.8で、対前年比3.9%低下しました。（表4）

四半期別にみると、1期95.0（対前期比1.3%減）、2期98.3（同3.5%増）、3期98.7（同0.4%増）、4期95.1（同3.6%減）となりました。（表8）

また、在庫指数の年平均は104.9で、対前年比0.4%低下しました。（表6）

四半期別にみると、1期105.6（対前期比9.7%増）、2期109.6（同3.8%増）、3期114.8（同4.7%増）、4期102.2（同11.0%減）となりました。（表10）



## 1-2 消費財

平成20年の県内消費財の生産指数は108.5で、対前年比3.4%上昇しました。（表4）

また、在庫指数の年平均は103.3で、対前年比26.8%低下しました。（表6）

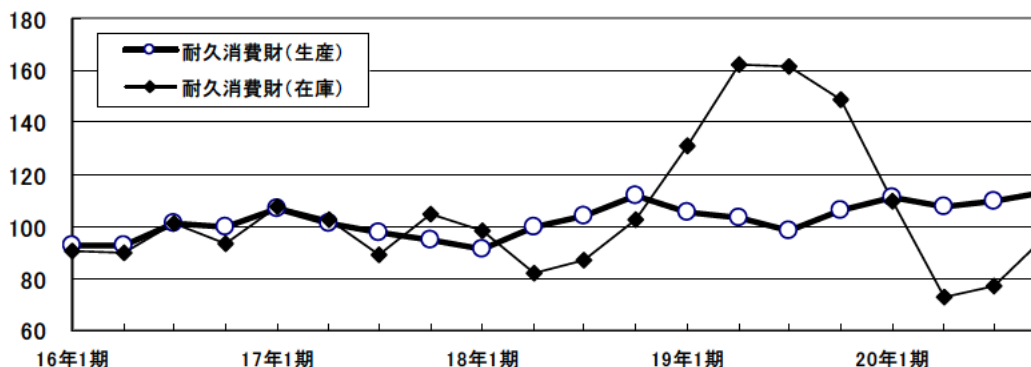
### 1-2-1 耐久消費財

平成20年の県内耐久消費財の生産指数は110.5で、対前年比7.3%上昇しました。（表4）

四半期別にみると、1期111.4（対前期比5.1%増）、2期107.3（同3.7%減）、3期109.6（同2.1%増）、4期113.3（同3.4%増）となりました。（表8）

また、在庫指数の年平均は104.3で、対前年比30.7%低下しました。（表6）

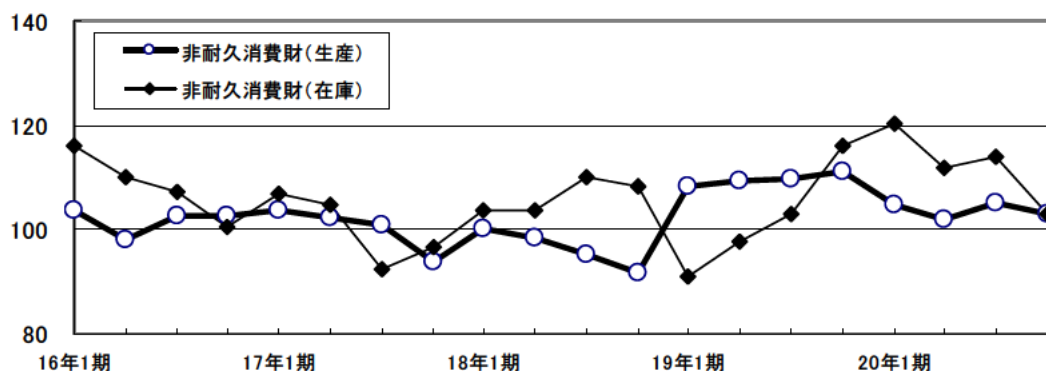
四半期別にみると、1期109.7（対前期比3.5%増）、2期72.7（同33.7%減）、3期76.8（同5.6%増）、4期96.0（同25.0%増）となりました。（表10）



## 1-2-2 非耐久消費財

平成20年の県内非耐久消費財の生産指数は103.6で、対前年比5.4%低下しました。(表4)  
四半期別にみると、1期104.8(対前期比5.6%減)、2期101.8(同2.9%減)、3期104.9(同3.0%増)、4期102.9(同1.9%減)となりました。(表8)

また、在庫指数の年平均は102.9で、対前年比0.6%上昇しました。(表6)  
四半期別にみると、1期120.3(対前期比8.4%増)、2期111.7(同7.1%減)、3期114.0(同2.1%増)、4期102.8(同9.8%減)となりました。(表10)



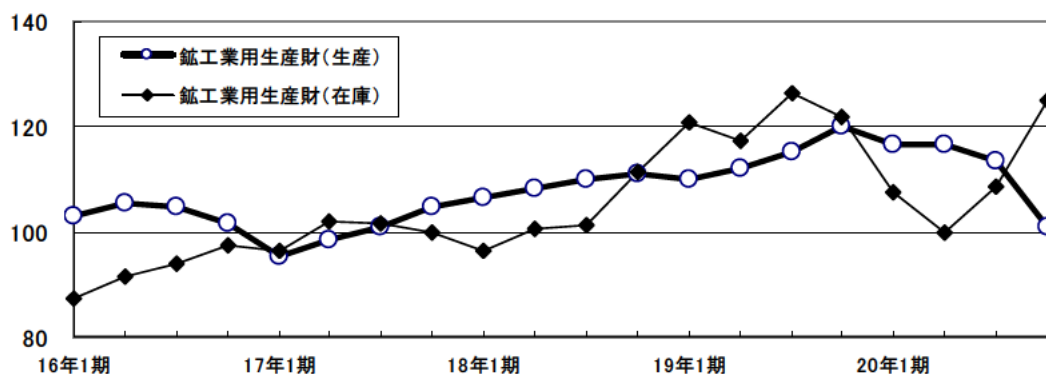
## 2 生産財

平成20年の県内生産財の生産指数は111.4で、対前年比2.2%低下しました。(表4)  
また、在庫指数の年平均は108.4で、対前年比10.0%低下しました。(表6)

### 2-1 鉱工業用生産財

平成20年の県内鉱工業用生産財の生産指数は111.8で、対前年比2.3%低下しました。(表4)  
四半期別にみると、1期116.5(対前期比3.1%減)、2期116.8(同0.3%増)、3期113.5(同2.8%減)、4期100.8(同11.2%減)となりました。(表8)

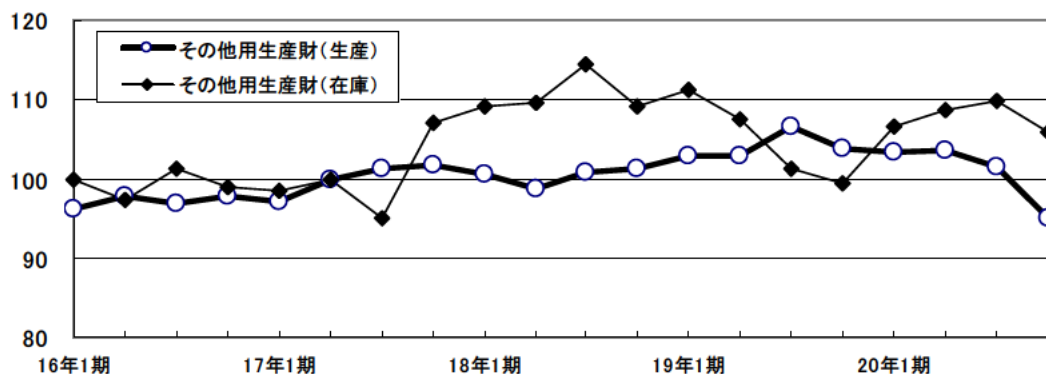
また、在庫指数の年平均は108.6で、対前年比10.7%低下しました。(表6)  
四半期別にみると、1期107.6(対前期比10.5%減)、2期99.9(同7.2%減)、3期108.7(同8.8%増)、4期125.0(同15.0%増)となりました。(表10)



## 2-2 その他用生産財

平成20年の県内その他用生産財の生産指数は100.9で、対前年比3.0%低下しました。（表4）  
四半期別にみると、1期103.4（対前期比0.4%減）、2期103.5（同0.1%増）、3期101.5（同1.9%減）、4期95.0（同6.4%減）となりました。（表8）

また、在庫指数の年平均は102.4で、対前年比2.4%低下しました。（表6）  
四半期別にみると、1期106.6（対前期比2.7%増）、2期108.6（同1.9%増）、3期109.9（同1.2%増）、4期106.0（同3.5%減）となりました。（表10）



### 「季節調整」 とは？

指数には「原指数」と「季節調整済指数」の2種類がある事にお気づきでしょうか？

例年、年末年始のある12月、1月、ゴールデンウィークのある4、5月、お盆休みのある8月は勤務日数が少ない為、生産活動が低下するといわれていますが、本当にそれを生産水準の低下と考えて良いのでしょうか？

鉱工業の生産は、季節的な要因や社会的慣習等により1年を周期として変動するので、前月や前四半期との比較を行なう場合には、そのような季節要因をとり除く必要があります。これを「季節調整」といいます。